

やさしさ

商工会青年部が劇団を結成!

『劇団四想』初公演

宍粟市商工会青年部は、7年前に4町の青年部が統合されて以降、協力して様々な活動に取組まれています。

今年は、青年部の新たなスローガン「想いをかたちに」の取り組みとして、5月に『劇団四想』を結成し、毎週練習を重ねてきました。

その初めての公演が、9月13日(金)、やまさき白寿園(山崎町春安)で行われました。

演目は、『しその逸話』から「屁こき嫁」と「年桶」で、青年部が現代風にアレンジをして上演。「宍粟に昔からある良いモノを遺し伝えていきたいので、しその逸話を劇の題材にしました」と、座長の小寺泰永さんは、思いを語ってくださいました。

今後は、市外のイベントでも公演していきたい



会場からは「すごくおもしろかったで」とたくさんの笑い声(やまさき白寿園)

とみなさん意欲的で、すでに次の公演予定も決まっています。(10月20日「宍粟国際ふれあいまつり」学遊館にて)

劇団四想の活動が、地域の活力にもつながっていくといいですね。

(山崎支部 森井裕矢)

※『しその逸話』…宍粟各地の「云われ」や逸話などを集め、「宍粟SNS」で紹介されています。

い

ボランティアは隣保がまわりもち

杉田ふれあい喫茶「たんぽぽ」



杉田ふれあい喫茶たんぽぽは、平成15年から有志のボランティアで運営され、4年前から隣保がまわりもちで担当しています。

9月15日(日)に行われた喫茶では、松本隣保のみなさんが

受付やお茶のサービスをお手伝い。

杉田公民館には46人が訪れ、「久しぶりやな」「元気にしとったかいや」など、お茶を飲みながら会話がはずみます。

特徴的だったのは男性の参加です。この日も参加者の半数(23人)が男性でした。

「男の参加はいつもこれくらい。ここでのい



喫茶が終わるまで誰一人として席を立つ人は…(杉田公民館)

ろんな情報が見守りや安否確認につながっています」と、代表福祉委員の石橋正章さん。また、「病院通いの母親にとつて近所の人と顔を合わせること大切になる機会になっています」との声も聞かれました。

これからも住民同士で協力しながら、自治会内のコミュニケーションの場として「たんぽぽ」が長く続いていくことを期待しています。

(本部・一宮支部 波多野好則)

読者の感想より

地元の「ふれあい喫茶」取材していただき、ありがとうございます。地域の方々とのふれあいをもっともっと深めていきたいです。(山崎町 女性)

は
が

地元パワーで敬老のお祝いを

上野老人クラブ

9月17日（火）、上野老人クラブが恒例の敬老会を開催し、約100人が公民館に足を運びました。

同老人クラブでは、毎月一日の地域の清掃をはじめ、子ども会との交流やラオケ大会、ふれあ

いのつどいなど、会員のみんなが顔を合わせ、ることを大切に

ています。

今回の敬老会では、アトラクションの出演者を地元の方を中心に構成し、大正琴や傘踊り、銭太鼓などで敬老の祝いに花を添えました。顔なじみのみなさんの演技に、会場は和やかな雰囲気になりました。



あすなろ会の男踊り「炭坑節」
コミカルな踊りで会場は笑いに包まれました（上野公民館）

「いずれは全員が参加できるようなアトラクションも考えていきたい」と、老人クラブ会長の松本繁信さんは思いを話してくださいました。

地元の方のお祝いなら地元の力で……そんな思いで作られた、地元パワー溢れる敬老会となりました。

（波賀支部 平有利菜）

便利、軽減、介護の味方

あゆみの会で福祉用具展

9月11日（水）千種保健福祉センターにおいて「あゆみの会（千種在宅介護者の会）」が開催されました。

今回の内容は、福祉用具や介護用品の展示説明会。そのため当日は、あゆみの会の皆さんだけでなく、介護保険関連の事業所職員、男性で在宅介護をされている方など約50名の参加がありました。

いろいろな福祉用具や介護用品を手に取り、体験した参加者の方からは、「この歩行器、見た目より軽いんやね」「こんなエアマットやったら床ずれもできずに済むね」などの声が聞かれました。



「この電動いす楽やわあ。エアマットの寝心地はどない？」
（千種保健福祉センター）

上しており、介護の負担軽減につながっています。

福祉用具専門業者の説明を熱心に聴いたり、積極的に質問をされる参加者の姿を拝見し、今後この様な機会を持つことの重要性を感じた1日となりました。

（千種支部 富田裕子）

ち
くさ

介護者を支援する 「お節介士」とは??

宍粟市ボランティアのつどいのお知らせ

宍粟市ボランティア連絡会では市内で活躍するボランティア同士の交流を目的に、「ボランティアのつどい」を開催します。

今回は「介護」をテーマに、柴本美佐代さんをお招きし、「お節介士」について講演していただく他、宍粟市男性介護者の会の取り組みを報告します。



講師：柴本美佐代 氏

(日本エルダーライフ協会)

日時：11月6日(水)

午後1時30分～午後3時30分

会場：宍粟防災センター(山崎町鹿沢)

対象：宍粟市ボランティア連絡会会員

宍粟市ボランティアセンター登録者

▼お問い合わせ:各支部

透析室への見守り活動を始めました



病院ボランティアめいちゃん

宍粟総合病院の玄関前で青いエプロンをトレードマークに活動をしている「めいちゃん」。

9月から人工透析をされる患者さんの透析室までの見守り活動を始めました。

「新しい取り組みなのでこれから活動が定着していくように、もっと多くの方にめいちゃんに参加してほしいです。」と代表の清水省三さん。

“負担にならない、楽しいボランティア”をモットーに活動しているめいちゃん。平日の午前9時～11時まで、月1回の活動もOKです!みなさんぜひ一緒に活動しませんか。

▼問合せ:宍粟総合病院 総務課 62-2410

ひとりひとり 一針一針まごころ込めて

ボランティア
センター日誌



改良パジャマやリハビリ訓練用品等、
みなさんの希望に合うように作っています

9月25日(水) 宍粟防災センター

縫製ボランティアつむぎの会は、毎月2回、身体が不自由な方や高齢者の希望に合わせた介護用品等を製作されています。

この日は、配食サービスの利用者さんのために心を込めてお弁当袋や介護用品を作られていました。

「必要とされるたくさんの方に利用していただきたいですね」と代表の梶本みゆきさん。

これからも必要とされる方とボランティアとの橋渡しがスムーズにできるよう、お手伝いしていきます。

(山崎支部 横山洋子)

災害に対する備えや心構えを学ぶ



知ること、考えることが支援への第一歩

10月3日(木) 千種保健福祉センター

千種ボランティア連絡会では、災害に対する日頃の備えや災害救援ボランティアの心構えについて学ぼうと役員研修会を開催し、グループの代表者など25名が参加しました。

研修では、本会田中祥仁ボランティアコーディネーターが、4年前に宍粟市を襲った豪雨災害時に活躍したボランティアの取り組みや、東日本大震災、また今年8月の山口県萩市での災害救援活動について、報告しました。

「下河野の被害があんなにひどかったとは…」 「災害救援現場に実際に行った話を聞いて、ボランティアによる支援の大切さを感じた」などの感想をいただき、このような機会を持つことの大切さを改めて感じました。

(千種支部 小原志のぶ)

輪っしょい!! ボランティア

ボランティア・市民活動センター

本部・一宮 72-8787・72-2211
山崎 62-5530 波賀 75-3631
千種 76-3390

集まれ! 竹筒づくりボランティア 1.17 KOBEに灯りを!

ぼらんちゃん

阪神淡路大震災で亡くなられた方々を追悼し、震災から生まれた「きずな・支え合う心」を次世代に語り継いでいくため、三宮東遊園地で毎年開催される「1.17のつどい」。

宍粟市社協・宍粟市ボランティア連絡会では、このつどいに使用する竹筒の切り出し・加工を行い、神戸へ届けたいと思います。

みなさん竹筒づくりにご協力ください。

日時 11月27日(水) 午前9時～午後3時
場所 一宮保健福祉センター集合
持ち物 お弁当、竹を切る道具(ナタ・ノコギリ)等

▼お問い合わせ:本部



スポットライト

キラリかがやくボランティアの輪

このコーナーは、地域で輝いてボランティアをされている方にスポットライトをあて、活動をはじめのキッカケや活動を通じて感じた思いを語っていただきます。

今回は「人形劇ゆめ工房やまさき」で活躍されている吉田さんを紹介します。

★吉田さんがボランティア活動をはじめたきっかけは??

子どもが3歳の頃、子育てグループに参加していました。もともと人形劇や絵本に興味をもっていた私に、知人が「人形劇グループを立ち上げるから一緒にしませんか」と声をかけてくれたことがきっかけです。人形劇をしていると、見てくれる人と同じ時間、一緒に気持ちになっていくんです。それがとっても楽しくて。また、人形劇を通じてコミュニケーションも図れるのが楽しいです。これからたくさんの人に見てもらって、喜んでもらえるよう活動をしていきたいと思っています。人形劇に興味のある方、私たちと一緒に活動しませんか。

よしだ きょうこ
吉田 京子さん(52歳) 山崎町岸田



グループでは、音楽を担当されています